



編集発行者  
千葉大学医学部  
るのほな同窓会報編集部  
〒260-8670 千葉市中央区亥鼻1-8-1  
千葉大学医学部内  
るのほな同窓会  
電話 (043) 202-3750  
FAX (043) 202-3753  
e-mail : info@inohana.jp  
HP : https://www.inohana.jp/



千葉大学医学部同窓会報 第193号 題字 故 鈴木五郎 (大11卒 元るのほな同窓会長)

## 会長挨拶

### 千葉大学医学部 創立150周年に向けて

るのほな同窓会長 吉原俊雄 (昭53)



令和6年には千葉大学医学部は創立150周年を迎えます。るのほな同窓会としては昨年の旧本館DVD作成に続き、様々な企画を検討しています。すでに紹介された旧本館DVDも本年6月26日集計で1584枚が同窓会員、学生、学生父母、大学職員、他学部教員、マスメディア他配布され多くの反響を頂いております。

#### 「同窓会からの現状報告」

るのほな同窓会役員は大学支部を含む全国各支部部長及び理事の先生で構成されています。るのほな同窓会総会をはじめ各支部の総会や活動にも深く関わられており、コロナ禍の影響を受け苦労されたことと思います。本年、6月10日(土)に開催されたるのほな同窓

会総会はいブライドで開催され、特別顧問である三木隆司大学院医学研究院長・医学部長、横手幸太郎医学部附属病院長のご挨拶があり、今後同窓会と情報共有をしながら医学部全体の発展を期待させるお話しを頂きました。るのほな同窓会賞社会貢献賞として長く学校保健に尽力された神田敬先生(昭35)が受賞され、お嬢様である木下香理様が代理で表彰盾を受けられ、お礼のご挨拶を代読されました。

大石賢吾長崎県知事(平24)からはビデオレターによる知事就任後の取り組みや実績をご報告頂きました。本学卒業生で政治の世界に入られた姿は同窓として誇らしく、今後の活躍を期待させるものでした。

講演会では横須賀忠理事(平5)の司会により鎌谷洋一郎(平14)東京大学大学院新領域創成科学研究科教授から「ゲノムデータをブライマリアケで利用する日は来るか?」のテーマの発表がなされ、本学から東京大学で活躍される姿と講演は、当日参加者およびオンライン参加者をうならせる内容でした。お二人目は、齊藤光江理事(昭59)の司会により甲賀かをり(平8)千葉大学大学院医学研究科産科学教授から「産婦人科学に関する最近の話題と千葉の課題」のテーマで講演を頂きました。幅広く女性のために重要なお話しをわかりやすく解説され、会員はもちろんですが会員以外のハイブライド担当会社の女性スタッフの方々が聞き入っていたこと、講演後に熱い拍手を送っていたのが非常に印象的でした。今後、千葉県のみならず全国・世界に向けて千葉大学女性教授の活躍を予感させるものでした。

総会終了後に着席式で久しぶりにアルコールを伴う懇親会が開催され、和やかな会を味わうことが出来ました。

#### 「各支部の総会について」

コロナ禍もありここ2、3年、支部総会も制限を受け、開催されなかった支部も聞いておりました。会報192号に、本年1月には栃木県るのほな会総会がハイブライドで開催されたこと紹介されています。やはり対面で意見交換することの大切さが実感されます。また5月には近畿るのほな会、千葉県るのほな会総会、7月8日は同日に東京るのほな会、神奈川県るのほな会、静岡るのほな会総会が開催されました。会長として私も千葉県に参加、そして東京、神奈川県は同日ダブルヘッドで参加し、同窓会報告とご挨拶をさせて頂きました。8月には中京るのほな会が予定されています。

#### 「同窓会による創立150周年記念企画」

①医学部および病院、同窓会合同の150周年式典検討のプロジェクトチームが7月より発足されました。令和6年の夏、秋ごろに式典が開催されることでしょう。同窓会からは会長の私と、千葉医学会会長で旧本館DVD制作にも関わられた松原久裕先生、医学部からは同窓会役員でもある安西尚彦先生、諏訪園靖先生がメンバーとなっています。

②旧本館に関する記録として「旧本館の思い出」をテーマとした記念文集の作成を進めております。写真、文は自由に、詩・俳句・短歌なども含み形式は自由に。多くの会員からの投稿を期待していますが、同窓会よ

り個人的に原稿をお願いすることもあります。すでにいくつかの寄稿を頂いております。奮っての投稿お願いします。

③千葉大学医学部の創設者にあたる長尾精一先生の胸像の再建計画(上野の西郷隆盛像の作で知られる高村光雲作・戦時中に軍需のため供出)を栗原正利副会長中心に進めています。胸像は鉄砲の弾や何らかの軍備品に利用されたものと推測されますが、台座は残存しており、千葉医学雑誌表紙にその台座は掲載されています。来年以降は立体的な胸像に変わることが期待されます。

④旧本館(旧病院)の保存に関して建造物としての高い価値があること、医学部単独での使用はできないが、他学部や県民・市民のための利用、千葉の医療の歴史・博物館などへの応用、耐震への対応や費用など検討すべき事は多く残っています。千葉大学工学部はもちろん他大学の専門家にも意見を伺いながら進めています。国内での建築物としての価値は文化財級であることはいうまでもありません。現在は国内の貴重な建造物は残していこうとする流れにあるとも聞いており大手ゼ

ネコンも建築保存の部署もあるということですが、県や市の意見も伺っていただくしております。同窓会員の先生方からの情報やご意見を頂ければ幸いです。

⑤現在まで田邊政裕理事中心に完成している医学部歴史年表については150周年に向けての内容の補充とナレーションによる解説付きのもの制作を検討中です。

同窓会としてはまだまだ検討すべき課題が山積していますが、同窓会宛てに同窓会会員の多くの先生方からのご意見や情報を期待しております。メールやお手紙、何れの方法でも結構です。よろしくお願いたします。

e-mail: info@inohana.jp

#### 紙面紹介

会長挨拶  
総会講演会  
人事異動  
ビデオメッセージ  
このほな同窓会賞  
叙勲感想  
就任挨拶  
医療DX  
各地るのほな会  
クラスの会  
地区るのほな会報より転載  
ホームカミングデー  
研修プログラム  
研修医だより  
追悼文  
タツチバネル  
欧州医学史巡り  
学内情報  
課外活動団体だより  
著書紹介  
雑文雑談  
編集後記

16 8 7 6 5 4 3 2 2 1

242322212120191818171713121111 7 6 5 4 3 2 2 1

### 講演 産婦人科学に関する

## 最近の話題と千葉での課題

千葉大学大学院医学研究院 生殖医学

教授 甲 賀 かをり (平8)



先日のるのほな同窓会総会では、他科の先生にも知っていただきたい最近の話題を6つご紹介し、さらに赴任半年で感じている千葉での課題について共有しました。

#### ①月経困難症

少産化により、妊娠・授乳中に中断するはずの月経が継続し、生涯に経験する月経回数は近年急速に増加しました。2020年4月には本症に対する外来「管理料」が制定され、本症の適切な管理が、様々な疾患の発症予防に寄与すると期待されています。現在当科では、本症に対する新規医療機器の臨床試験を花岡英紀先生のご指導のもと実施予定です。

#### ②月経前症候群 (premenstrual syndrome, PMS)

月経前の身体的・精神的諸症状により、生活に支障を来す状況、と定義される病態です。妊娠には有利な生物学的変化ですが、現代社会の女性にとっては望ましくない「疾患」です。認知行動生理学の清水栄司先生、沼田法子先生にお声がけいただき、本症に関するエビデンス整理を目指す共同研究を開始しました。

#### ③不妊治療の保険適用

菅内閣の目玉政策として、体外受精等の不妊治療が2022年から保険適用となりました。ただし、治療を受ける女性の年齢が高く、妊娠率は低く、妊娠しても周産期合併症率が高い、といった問題もあります。当科では2022年にプレコシテーションケア外来を開催しました。内科的疾患等を抱えながら出産を望む患者様を是非ご紹介下さい。

#### ④がん生殖

小児がんや乳がん等の治療成績が向上し、サブバイアの生殖能保持が求められる時代になりました。2021年、千葉大は「千葉県がん・生殖医療相談支援センター」に指定され、市川智彦先生がセンター長をおつとめです。抗がん剤・放射線治療を受ける患者様の配偶子凍結等のご相談を受けています。ご紹介をお待ちしています。

#### ⑤HPVワクチン

日本政府は積極的接種勧奨を2013年から2022年まで中止しており、我が国の接種率は先進国の中で恥ずべき低さです。1997年から2007年生まれ(キャッチアップ接種無料)の患者さん・お知り合いがいらしたら、是非接種をお奨め下さい。

#### ⑥「飲む中絶薬」

性や生殖に関する女性の自己決定権と胎児人権問題は国内外で大きな社会課題です。本邦では本年4月に経口中絶薬が初めて承認されました。当科でも中絶手段の一つとして導入予定です。他科も同様の事情と存じますが、千葉県では産婦人科医の慢性的な人員不足医師偏在が問題です。生水

真紀夫前教授のご尽力で、周産期医療に関しては他県からも照会を受けるほど素晴らしい母体搬送システムが構築されています。一方、婦人科疾患、特に低侵襲性手術の普及等まだまだ課題はあります。2024年度以降の働き方改革により、

人員不足には拍車がかかるものと危惧しています。我々と一緒に働く医師を集めるべく、研究促進も含め、引き続き魅力ある教室づくり邁進する所存です。各講座・診療科の先生方、今後どうぞよろしくお願ひします。

### 講演

## ゲノムデータをプライマリケアで利用する日は来るか？

東京大学大学院 新領域創成科学研究科

教授 鎌 谷 洋一郎 (平14)



るのほな同窓会総会では私が行っております集団ゲノム・オミックスデータ解析について紹介させていただきました。

この研究では、DNA(ゲノム)、RNA(トランスクリプトーム)、タンパク質(プロテオーム)のセントラルドグマの流れを軸に、エピゲノム、メタボロームやシングルセル解析などのビッグデータを加えて、大規模

差がもたらされるとわかりました。肥満症のゲノム解析からは、単一遺伝子型と同様に中枢神経系で働く食欲制御等の遺伝子のほか、あらたに炎症系、とりわけBリンパ球で働く遺伝子の多様性が個人の体重の違いに影響することをエピゲノム統合解析により明らかにしました。

このようにゲノム解析はデータ駆動型の疾患推論ができるほか、多数の遺伝的バリエーションを用いて発症予測リスクスコアを構築することもできます。リスクスコアには診断的価値はなく、統計的なものであるため、その有効性も、臨床試験により統計学的に証明することによって正当化されるという考えを紹介しました。ここ5年くらいのあいだにそういった知見が蓄積してきており、たとえばがん検診における早期検診グループを同定したり、臨床スコアと組み合わせることでより精緻な予後予測を実現したり、早期診断が難しい疾患群において早期診断をサポートしたり、薬剤の有効性が高いグループを同定する、またこれらがあわさって医療費削減につながる可能性が指摘されています。このため米国では様々な病

### 人事異動

教授

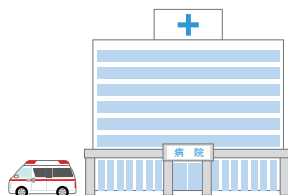
国際高等研究基幹

小野寺 淳

その他

千葉産業保健総合支援センター所長

中田 暁 (昭61)





ビデオメッセージ  
長崎県知事



大石賢吾(平24)

ののはな同窓会の皆様こんにちは。

平成24年卒業の大石賢吾でございます。

本日は令和5年度ののはな同窓会総会が開催されましたこと、誠にありがとうございます。

吉原俊雄同窓会長をはじめとして、同窓会の皆様には平素より丁寧なご指導、ご協力を賜りまして心から感謝を申し上げます。私も卒業生の一人として伝統ある千葉大学のののはな同窓会に籍を置かせていただいておりますことを大変誇りに思っております。

私は昨年2月の長崎県知事選挙にて、知事として県政のかじ取りを担わせていただく事となりました。千葉からは離れておりますが、長崎県の取り組み、近況をお話しさせていただきます。昨年の9月には、半世紀

の長期にわたって悲願であった西九州新幹線が開業し、開業イベントなどお祝いムード一色となりました。どうぞ、日本一新しい、日本一短い新幹線に乗りに来てください。

また、本年5月には、長崎市でG1広島サミットに合わせて保健大臣会合が行われました。加藤勝信厚生労働大臣はじめ、G1主要7か国、G2の保健担当大臣の他、インド、インドネシア、ベトナムの招待国の担当大臣も参加されました。長崎は広島とともに原爆の惨禍を経験いたしました。その後復興を果たし核兵器廃絶と世界平和の思いを発信し続けてきた平和都市です。昨年8月には、ニューヨークで開催されたFNU核不拡散条約の再検討会議に歴代長崎県知事として初めて参加をし、広島県の湯崎英彦知事とともに核なき世界の実現に向けたメッセージを発信しました。今後長崎県はこうした経験を生かして、新たな国際会議誘致や関係機関と連携をして医療、公

衆衛生分野の更なる国際的な発展、核兵器のない平和な世界の実現に向けて取り組んでまいります。

コロナに関しては、医療提供体制の維持と感染拡大防止対策に取り組んでまいりました。5月からは、5類感染症に見直され、社会経済活動が活発化して平時の状況に近づいていくと期待をしております。感染症研究の拠点を持つ広域行政として、また医師免許を持つ知事として、コロナのパンデミックの教訓を医療ばかりではなく行政の立場からも振り返って、新興、再興感染症への体制整備への検討を進めていきます。令和3年7月には、長崎大学に日本で二つ目となるBSL-4が出来ましたので、グローバルな学術都市となるよう考えていきます。

長崎県政につきましては、県民の皆様が長崎県を誇りに思えること、将来を担う人材を育てていくことが大切と考えます。そのため、子ども施策を県政の基軸として取り組んでおります。また、長崎県では複数の大きなプロジェクトが進行しています。特に長崎駅周辺では再開発が進んで大きく変わろうとしています。さらに、長崎県には軍艦

島、壱岐・対馬、五島列島などの観光地が数多くあり、令和6年度には日本スポーツマスターズ、令和7年度には国民文化祭、全国障害者芸術文化祭が開催予定でもあります。

まだまだお伝えしたいことはたくさんありますが、この辺にいたします。ののはな同窓会の皆様には是非長崎県にお越しいただき、その際にはどうぞ私にもお声掛けください。

今後のののはな同窓会の限らない発展と、皆様のご健勝、ご活躍をご期待いたしまして本日のご挨拶とさせていただきます。

ののはな同窓会賞受賞候補者募集要項

第二九回(二〇二四年度)ののはな同窓会賞の受賞候補者を左記により募集いたします。

一、受賞対象者  
①社会貢献賞  
本会員で、医療活動の顕著な業績により、社会に高い貢献をした個人またはグループ。

②功 労 賞  
医療および広く文化の各領域において、千葉大学医学部および千葉大学のののはな同窓会に多大の貢献をした会員。

二、表彰  
①社会貢献賞(二件以内) 盾および賞金(総額二十万円以内)を贈呈します。  
②功 労 賞(二件以内) 盾および賞金(総額二十万円以内)を贈呈します。

三、応募方法  
所定の申請用紙により、二〇二三年十二月一日から二〇二四年一月三十一日までに申請して下さい。

四、受賞者の決定  
常任理事会の議を経て、会長が行います。審査結果は二〇二四年五月中旬までに各申請者に通知すると共に、ののはな同窓会報に掲載します。

五、問い合わせおよび申請用紙請求先  
千葉大学医学部内、ののはな同窓会事務局  
申請用紙は同窓会ホームページよりダウンロードすることが出来ます。

千葉大学医学部創設150周年  
記念文集「旧本館の思い出」  
原稿募集のお知らせ

千葉大学医学部ののはな同窓会  
会長 吉原 俊雄

昨年は同窓会の企画、動画DVD「千葉大学医学部旧本館85年の記憶」を制作し、同窓の方々にご覧いただいております。

令和6年には千葉大学医学部創設150周年を迎えます。

そこで、同窓会では記念文集(写真含めた)、テーマ「旧本館の思い出」の制作を進めています。ご多忙の毎日と存じますが、旧本館(旧病院)に過ごされた頃の思い出などご自由に執筆頂ければと思います。奮ってご投稿ください。

投稿要項

- ・一次募集締め切り：令和5年12月31日
- ・字数：制限なし
- ・タイトル：自由
- ・旧本館スケッチや絵画、医局時代の写真とその説明文等
- ・詩、短歌、俳句など旧本館(旧病院)に関わるもの

問合せ：千葉大学ののはな同窓会事務局

〒260-8670 千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部内

TEL：043-202-3750

E-mail：info@inohana.jp



るのほな同窓会賞

社会貢献賞

るのほな同窓会賞

社会貢献賞を受賞して

神田 敬 (昭35)



去る6月10日のるのほな同窓会総会で、大変光栄なことに社会貢献賞を受賞致しました。

母校の同窓会よりこのような立派な賞をいただきましたことは、私の人生においても大きな喜びです。総会当日は、車椅子ということもあり、会場に直接伺うことが出来ずに大変残念でした。この場をお借りしてご尽力いただきました同窓会諸氏に心より感謝申し上げます。

私は、昭和35年3月に千葉大学を卒業し、昭和40年6月に医学博士号取得した後、昭和41年6月から二年間米国エール大

とにあります。その結果により、言語発達・社会性・友人関係・生活習慣などを考慮に入れた対応が必要となります。

学校保健関連で、日本医師会学校保健委員会委員、日本耳鼻咽喉科学会学校保健委員会委員長、日本学校保健会理事、千葉県学校保健会会長を長年務めさせていただきました。日本医師会より最優秀功賞、日本学校保健会会長賞、学校保健及び学校安全表彰を文部科学省より受賞いたし、昨年は瑞宝双光章を浴しました。

今回の受賞は、私の長い医師人生の集大成と実感しております。関わられました全ての方々へ御礼申し上げます。

私は開業医の仕事と共に学校保健にも大きな力を注ぎ、地域の小学校・中学校・高等学校12校の健康診断を長年実施して参りました。その目的は耳鼻咽喉科疾患のスクリーニングをするのではなく、耳鼻咽喉科領域の発達程度を調べるこ



第100回千葉医学会総会記念大会開催される

2023年5月28日(日) ホテルニューオータニ幕張を会場に第100回千葉医学会総会記念大会が開催され、学内外より81名の会員が参加した。通常の総会プログラム(総会・第15回千葉医学会奨励賞授賞式・受賞記念講演)の他に「千葉医学の未来像」をテーマとした記念シンポジウムを開催し、シンポジストとして三木隆司千葉大学大学院医学研究院長・医学部長、川上英良教授(人工知能(AI)医学)、中田孝明教授(救急集中治療医学)をお招きしご講演いただいた。記念撮影を挟んで行われた懇親会では松原久裕会長のご挨拶に続いて、吉原俊雄るのほな同窓会長、清水栄司千葉医学/CMJ編集委員長よりお言葉を頂戴し、横須賀收元会長(名誉教授)の発声により開宴、終始和やかに会員同士の親睦を深めた後、盛会のうちに閉会となった。



※1922年11月27日に設立された千葉医学会は2022年に100周年を迎えた



# 就任挨拶

## 帝京大学ちば総合医療センター

眼科 教授

横内 裕 敬 (平13)



令和5年4月1日付で、帝京大学ちば総合医療センター眼科教授を拝命しました。千葉大学の諸先生方には多大なるご支援賜りましたこと、改めて感謝申し上げます。

帝京大学ちば総合医療センターの歴史は古く、昭和61年に市原医療圏における地域医療の充実を図るため推し進められた政策の一環として、市原市の誘致により帝京大学医学部附属市原病院として開院しました。眼科教室は、開院時から初代教授である箕田健生先生が王国を築き、第4代病院長もお務めになり一時代を築いておりました。千葉大学眼科との縁は、山本修一教授時代に千葉大学の学友であった当時の和田佑一病

を報告いたしました。【糖尿病網膜症における高血糖下の増悪因子をin vitroでDNAレベルで網羅的に解析する】という当時としては最先端の研究でした。基礎研究は全く興味なかったのですが、始めてみると思いのほか楽しく、「このまま基礎の道に進むのも悪くないかな」などと思い始めていたときに、山本修一先生に「このままでは眼科医として使いもんにならない!」と、成田赤十字病院に4年間派遣され、臨床の最前線で従事させていただきました。緊急疾患も大変多く、昼夜にわたり、渡部美博先生のご指導の下、その後臨床医としてやっていく上での臨床の基礎から応用までご指導いただきました。【そのまま臨床医としてやっていくのも悪くないな】と思い始めていた矢先、「千葉大学へ戻ってきなさい」とお声が掛かり、それ以降13年間もお世話になることになりました。

ただきました。臨床研究では、高濃度VEGF血症を有するPOEMs症候群を「高濃度VEGFヒト網脈絡膜モデル」として、光干渉断層計(OCT)画像を用いたイメージング解析により、「網膜・脈絡膜と高濃度VEGFの関係」に関する研究を一貫して行ってきました。後半は、四倉次郎先生・忍足俊幸先生にご指導いただきながら、ぶどう膜外来・神経眼科を主に担当させていただきました。ぶどう膜外来・神経眼科という分野は、眼科の中でも特に他診療科とのつながりが強く、「眼から全身疾患を診る」という非常に面白い分野であり、OCTをツールとして他診療科との研究(主に多発性硬化症・視神経脊髄炎・POEMs症候群・難治性視神経炎)をさせていただきました。MS・NMJでは、OCTと微小網膜感度計(MAIA)とを組み合わせて、構造面だけでなく機能面から解析し、まだ視神経炎が発症する前からサブクリニカルな変化が網膜に生じていることを報告いたしました。近年では、「目と老化」の観点からWerner症候群を「ヒト網脈絡膜老化モデル」としてOCTイメージング解析により、網

膜の神経線維層や脈絡膜の構造と老化との関係を研究し、ディープラーニングによる自動抽出技術を用いた再現性のあるOCT画像解析システムのアルゴリズムを取り入れて、「新規老化バイオマーカー」の開発に力を入れております。加えて、大学赴任時より眼科教育担当として、学生教育や若手医師の指導を担当させていただきました。医学・医療というのは、日進月歩なだけに基本だけ教わったら、あとは自分で切り開いていくもので、自分たちにできるのは、そのための道標を示すことだと考えております。そのため「眼科に興味を持ってもらう」として「研究に興味を持ってもらう」ことが大事であると考え、広く眼科の楽しさを知ってもらうことに重きを置きました。教育は結果が非常にわかりづらく、モチベーションを保つのが難しい時期もありましたが、ここ最近の眼科入局者数の増加には、ある一定の成果があったのではと考えております。

千葉大学は、学生のときから22年間お世話になりました。大学の先生方、同窓会の先生方にここまで育てていただいた感謝の気持ちを忘れずに、これからは、

今まで以上に臨床・研究に邁進していきたいと考えております。特に教授として快く送り出してください、赴任後も多大なるご支援を頂いている馬場隆之教授にはこの場を借りて御礼申し上げます。

病院と帝京大学ちば総合医療センターを「つなぐ」、院内では他診療科と眼科を「つなぐ」、そして、千葉大学と帝京大学を「つなぐ」ことにより、房総地区だけでなく、千葉県医療の発展に尽力し、さらには、ライフワークでもある【教育】を通じて次の世代へ「つなぐ」こと実践していきたいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

叙勲、褒章その他祝事に関係され  
の方は是非同窓会事務室までご一報  
下さい。編集部でも絶えず注意して  
おりますが、ニュースに接し得ない  
事態もあります。お喜びはなるべく  
早く、同窓の皆様にもお分けしたい  
と思いますのでよろしくお願ひ申し  
あげます。

受章の挨拶

瑞宝小綬章

令和5年春の叙勲を受けて

福田 健 (昭48)



この度、春の叙勲に際し... 瑞宝小綬章の栄に浴しましたところ、同窓会報第193号に小文を寄稿する機会を賜り心より御礼申し上げます。受章分野は保健衛生と教育研究です。私は昭和48年の本学卒業で、研修後、開学直後の獨協医科大学のアレルギー内科(現在の呼吸器・アレルギー内科)に入局しました。気管支喘息をはじめとする臨床アレルギー学の診療、研究、教育に携わり、途中2年間の米国留学を挟み、平成8年より主任教授を拝命、同25年に定年退任し、同大で副学長に就任しました。本学で1年先輩にあたる稲葉憲之学長のもとで4年間大学の運営に係わった後、平成29年4月、現在の勤務先であるちぎメディアカル

センターに着任しました。平成30年6月から令和4年6月まで同理事長を務め、現在は特別顧問として、呼吸器疾患、アレルギー疾患、新型コロナウイルス感染症の診療を専ら行っており、この叙勲と関係してきます。さて、ここから先が今回の叙勲と関係してきますが、大病院副院長を務めていた平成16年、栃木県医師会より「大学勤務医にも積極的に医師会活動に参加して欲しいので、大学より常任理事(非常勤)を出して欲しい」という要請が病院長にあり、私がその役を担うことになりました。同医師会には常任理事として8年、副会長として6年間在任しました。この間、栃木県勤務医部会を創設し、勤務医が診療・研究のみならず、医療体制構築にも関わられるようにしました。獨協医科大学、自治医科大学の多数の勤務医に医師会員になってもらった結果、医師会員数50人につき1人当てがわれる評議員に獨協か

ら7人、自治から6人が就任しました。これは全評議員数の25%になるので、大学が医師会活動に積極的に関与できる環境になりました。医師会では、その他に生涯教育制度の充実、医師の働き方改革の推進、かかりつけ医制度の立ち上げなどに係りました。このような長年にわたる医師会活動、

瑞宝小綬章

令和5年春の叙勲を受けて

伊達 裕 昭 (昭50)



このたび令和5年春の叙勲において瑞宝小綬章の栄誉に与りました。身に余る光栄と感激しております。コロナ禍で控えられていた千葉県庁、厚生労働省での勤記・勲章の伝達式や皇居での天皇陛下への拝謁も、受章者のみでしたが再開されて、一生に一度の得難い経験をさせていただきました。私は昭和50年に千葉大学を卒業後、開設4年目の脳神経外科教室(牧野博安

域と決め、昭和63年4月に県職員として千葉県こども病院に赴任しました。以来、平成28年3月に定年退職するまで、特に後半の12年間は病院長として、県内の小児医療に長く関わったことが今回の受章につながったものと思います。医師になるための教育を受けていただいた千葉大学医学部の諸先生はもとより、今日までご指導いただいた関係各位そして多くの患者さんに感謝しています。現在は大網白里市にある季美の森リハビリテーション

旭日双光章

令和4年春の叙勲の栄に浴して

栗原 伸 夫 (昭38)



この度の叙勲の栄誉に浴しましたことは未熟な私どもをご指導くださり、いつも温かい手を差し伸べて、ご支援ご鞭撻を賜りました千葉大学のはな同窓会の皆様様に衷心より感謝申し上げます。私は地域医療を支えて半

ン病院の院長として、脳卒中や骨折、肺炎などの急性期治療直後の患者さんを対象に、回復期のリハビリテーション治療に携わっています。治療することが困難な疾患の治療ゴールはOTの維持、改善にあると考え、通所リハビリテーション事業を通して介護領域でのフレイル予防や生活支援にも積極的に関わっています。今回の受章を一層の励みとして、今後も医療活動に努めます。引き続きのご指導をよろしくお願い申し上げます。その間千葉県医師会理事10年、日本医師会学術委員15年をさせて頂き、日本医師会最高優功賞をいただきました。また習志野市教育委員を12年務めさせていただきました。また、渡辺武先生、大濱博利先生(昭27)とともに「千葉県のはな会」創設のお手伝いをさせていただきました。同窓会の先生方の同窓意識こそが「心の支え」、「千葉大学の支え」になると思っています。これからも末長く同窓会を育てていきたいと思います。



# 医療DXのグランドデザイン.. 医学・医療界の主體的な取り組みを

一般社団法人Medical Excellence JAPAN 理事長  
内閣府健康・医療戦略事務局健康・戦略参与  
早稲田大学医療レギュラトリーサイエンス研究所顧問



笠 貫 宏 (昭42)

世界レベルから遅れている日本の電子カルテの現状、そして国家事業としての医療DX推進について、この度るのはな同窓会長より会報への原稿を依頼された。

2020年からの新型コロナウィルスパンデミックで顕在化した保健・医療・介護情報の共有システムの欠如は、医療先進国と信じていた日本国民に大きな衝撃と不安を与えた。そして、周回遅れの医療DXを迅速に社会実装することが我が国の喫緊の課題となった。

2002年には、厚生労働省「保健医療分野の情報化にむけてのグランドデザイン」が策定され、当初4年間で電子カルテ普及率6

割以上を想定したが、18年後でも400床以上の病院で9割を超えるものの、全体では約5割に止まっている。2016年のOECDの報告では、日本の医療情報の活用及び研究利用への電子カルテの準備状況は最も遅れている。欧米では電子カルテが普及し、医療ビッグデータの二次利活用による時代に突入している。

2023年6月、医療DX推進本部は「医療DXの推進に関する工程表」を公表した。2017年から厚生労働省が進めてきたレセプトデータを中心としたデータヘルス改革が加速される。また、マイナンバーカード利用を前提に、オンライン資格確認等システムを拡充した「全国医療情報プラットフォーム」の設置とセキュリティの強化が検討進められている。2023年は、医療DXの社会実装の第一歩の年になるであろう。

DX (Digital Transformation) とは、2004年エリック・ストルターマンが提唱した「ICTにより社会や生活の形を変化させる」という概念である。医療DXはIoT (Internet of Things) やAI (Artificial Intelligence) などデジタルテクノロジーを活用して医学・医療領域に新価値を創造し、医療変革をもたらすことである。少子超高齢人口減少や医療費高騰や働き方改革等の大きな課題を抱える我が国において、医療DXは従来の制度を改める「改革」ではなく、医療制度に止まらず、医学教育、医学研究、そして医療の在り様を新しくする「変革」であろう。

その第1は、情報のフリーアクセスである。国民は誰もが全国の医療機関を受診できる(フリーアクセス)に加えて、全医療機関へのクラウド型標準電子カルテの普及により、医師は医療に必要な情報を共有し、患者・国民は最適な診療を受けることが可能になる。医療機関内、医療機関間のみならず、医療機関―薬局・介護施設との情報の共有と連携ができる。

第2は世界レベルの電子カルテの開発と普及である。日本は1970年代から会計事務の電子化が進んだため、高品質の電子カルテの開発が遅れ、世界の電子化レベルの分類(HIMSS)で最高レベル7と6を取得した日本の医療機関もベンダーも存在しない。国家の産官学プロジェクトとして開発された世界水準の電子カルテは、利便性、効率性、操作性の向上のみならず、IoT、AI活用等による診療支援による医療の質向上、医療安全の確保、経営支援、かかりつけ医機能の強化、在宅医療の推進さらに高度かつ精緻な診療情報二次利活用が可能とする。

第3は国民が健康・保健・医療情報を自己管理する。第4は全国の医療情報連携ネットワークの構築である。我が国は、1970年以降、急速に高齢化が進み、21世紀には高齢社会に突入し、2025年・2035年・2040年問題と課題が山積している。2005年以降、「地域包括ケアシステム」「地域医療連携ネットワーク」「地域医療構想」の施策が行われてきたが、それぞれの目標は達成されていない。これらを総合的に社会実装するのが医療DXである。医療DXにより地域医療介護連携ネットワークの統合が可能になり、各自自治体が直面する少子超高齢人口減少に対応できる包括的な地域保健/医療/介護/福祉の基盤構築が期待される。

第5は医療ビッグデータの二次利活用の推進である。医療情報の電子化によりもたらされる医療・健康分野におけるビッグデータは、多量で多様、かつ、即時性という特徴を持ち、進歩するIoTとAIにより、収集・蓄積・分析・解析が可能である。二次利活用として、ゲノム・オミックス情報と診療情報などの医療ビッグデータにより、大学・研究機関における研究開発、企業の創薬や医療機器開発、個別化医療、プレジジョンメディスンなどが可能になり、その成果は国民に還元される。さらに、行政機関の政策立案・感染症危機管理なども可能であり、活力ある経済社会及び豊かな国民生活の実現に結びつく。個人情報の適正かつ効果的な二次利活用推進のため、2003年に個人情報保護法が成立し、2018年には個人の医療情報を匿名加工し、研究開発を促進する次世代医療基盤法が成立した。

さらに、2020年個人情報保護法改正と、2023年に次世代医療基盤法改正による匿名加工情報が承認され、個人情報の二次利用に伴う要件が緩和方向へ整備されている。今後、研

究機関や民間企業による二次利活用拡大により、研究開発が迅速化され、イノベーションの促進が期待される。

わが国が目指している「Society 5.0」における人間中心の社会へと変革させることが、医療DXのビジョンであり、ミッションである。我が国の医療DXの社会実装には多岐にわたるたくさん障壁が存在する。従って、国・自治体、医学医療界、企業のみならず、国民全体の意識改革と行動変容が不可欠である。米国同様に、国家事業としての財政支援と、社会実装のための専任組織と法整備が必要になるであろう。同時に、医療DXのグランドデザイン策定が急務となっている。医師は憲法13条(生命権、幸福追求権)および25条(生存権)を担うプロフェッションであり、医学医療界が叡智を結集して、主體的に未来医療のデザインに取り組むべきであろう。





# 各地の は な 会 だより

## 千葉県のはな会

### 令和5年度総会報告

千葉大学のはな同窓会  
の千葉県支部である千葉県  
のはな会総会

は、令和5年5月13日に開催された。場所は、千葉大学医学部附属病院外棟棟3Fガリネットホールで、今回もハイブリッドで行なわれた。

まず午後4時30分から開催された総会で、令和4年度事業報告・会計報告・令和5年度事業案・予算案が報告され承認された。

講演会は二部構成で、第一部は新潟県福祉保健部長の松本晴樹先生(平18)から、「旧六の旅 千葉県のはな会と新潟県部長、ダブルでハーバードに留

学生を送る」と題しての講演があった。これからの医療研修について考えさせられる、非常に興味深い講演だった。

第二部は、特別企画でサッカー評論家/日光アイスバックスシニアディレクターのセルジオ越後氏を迎えて、



えて、「スポーツ・健康長寿・仲間作りについて」という演題で講演して頂いた。セルジオ越後氏を迎えることが出来たのは、鍋島和夫先生(昭42)のご助力があったことを申し添えておく。

セルジオ越後氏から、スポーツとは「だれでも、どこでも、いつでも」出来るものであって、人をつなぐ役割であるのに、日本のスポーツは強化の方に方向が向いてしまっている、とスポーツのあり方について、改めて考えさせられる内容であった。

コロナ禍の中でハイブリッドでの開催ではあったが、4年ぶりに対面での懇親会を医学部敷地内のレストラNOKUで開催することも出来た。やはり、対面に優るものは無いと改めて感じさせられた。  
(中村真人)

## 近畿のはな会

「近畿のはな会」には約70名の会員がいますが、以前は関西圏の大学に教授として就任された先生の祝賀を兼ねて4年に1回ほどの開催となっていました。近年「毎年開催してほしい」との要望が強くなり、

2015年からは毎年5月第3日曜日に交通の便の良い梅田界隈で開催しています。

今年も、5月21日(日)12時半から15時半まで大阪新阪急ホテルで、昨年と同様に現地参加とオンライン参加のハイブリッド形式で開催しました。

現地参加者11名、オンライン参加者2名の13名が集い、2022年4月に大阪公立大学肝胆脾外科教授になられた石沢武彰先生(平12)の就任を祝いました。まずは、最年長の宇佐美暢久先生の乾杯と挨拶の後に、現地参加者のみの食事と歓談の時間としました。昨年はパーティション付きの丸テーブル2卓が用意されていましたが、今年は通常の食卓に戻り、マスクも外した昼食会となりました。食事後にオンライン参加者のNounへの入室を待つて13時半から上田真喜子会長が開会の挨拶を行い、続いて石沢先生へ花束と記念品を贈呈後、スクリーン前に集まり記念写真を撮りました(添付写真を参照)。

する国内外の指導者の門を叩き、開腹から腹腔鏡下手術へ、そしてより低侵襲のロボット支援手術へと肝がんと手術をマスターしていった過程と(〇〇などの蛍光プローブを用いて手術中にがんや生体構造を描出する技術(蛍光イメージング)を開発し臨床応用を進めた様子がスライドを用いて語られました。優れた指導者から学んだ事柄や自ら創り上げた手術手技を患者さんに提供すると共に、若手外科医の育成に注力し国内外の東西の情報交換や人事交流を促進したいというスケールの大きい挨拶でした。その後、参加者の近況報告に移りました。

石沢先生と同級生の山田義人先生は、移植数日本最多の京都大学呼吸器外科で肺移植の臨床と研究に従事しており、スイス留学中の移植手術の経験や「L」の複合体を用いることでマウスの移植肺の生着期間が大幅に延長した実験などをきれいなスライドで説明してくれました。

同じく同級生の室賀(三宅)あかり先生は、宇治武田病院神経内科で脳神経内科と高次脳機能障害全般の診療に従事しており、オンライン参加ではありましたが、石沢先生や山田先生との久闊を叙していました。これら平成12年卒の3名の先生方が今回初参加となりました。



全山縦走」を十数回やり遂げた先生もおられ、日々のトレーニングとして高さ570mの裏山を10kmにわたって登って降りるといって70歳台とは思えない若々しい体力と気力が驚かされました。

公衆衛生を専門とする立場を見込まれて県の50年史の執筆を頼まれた苦労話やスキー事故で受けた手術の術後疼痛のつらかったことなどお一人お一人が貴重な体験をされており、興味の尽きない近況報告が続きました。



した。  
若手の先生で米国 Minneapolis の心臓センターに留学中の岡田厚先生（平成21年卒）はオンラインで参加してくれました。時差が14時間遅れとのことですが、中の参加となりましたが、美しい街の風景と共に、昨年の同窓会でもらったアドバイスである各地を家族旅行することやスピード違反に注意して運転していることなど、現地での暮らしをスライドを使って楽しく報告してくれました。

来年の同窓会は、対面の形式となるかハイブリッド形式になるか未定ではありますが、雨宮浩先生の閉会の挨拶の後、別れを惜しみつつ散会しました。

（中尾照逸）

写真右から  
林富貴雄（昭58）、島正之（昭59）、増村道雄（昭50）、中尾照逸（昭50）、上田真喜子（昭50）、石沢武彰（平12）、雨宮浩（昭35）、宇佐美暢久（昭31）、伊豆敦子（昭59）、山田義人（平12）  
オンライン参加者…  
左上：岡田厚（平21）  
下：室賀あかり（平12）  
（敬称略）

### 東京の は な 会

#### 令和5年度総会

令和5年度東京の は な 会総会が7月8日（土）銀座アスターお茶の水賓館で開催されました。

昨年までのスクール形式レイアウト・お弁当スタイルから4年ぶりに立食式懇親会が復活、過去最多の90名が参加する盛況となりました。

冒頭で就任2年目の岡本和久会長（平2）が「この形で開催できるように頑張って本当にうれいいます。今後も若手が何でも相談できるように相談所のような東京の は な 会を目指します」と挨拶。

ともに神奈川の は な 会とのハシゴとなった吉原俊雄の は な 同窓会会長（昭53）と三木隆司千葉大学大学院医学研究院長・医学部長（昭63）が同窓会報告とご挨拶をしてくださいました。

特別講演は昨年4月に東京女子医科大学循環器内科主任教授に就任された山口淳一先生（平5）が「心血管カテーテル治療と薬物治療の進化—Coronary/SHD interventionist—」の視点から」と題して、



インターベンションの専門家によるカテーテル弁形成術から、ARNI+B遮断薬+MRA+SGLT2阻害薬を用いた心不全治療の新たな展開「Fantastic four」の試みをご講演戴きました。ショートスピーチでは、

国松志保先生（平5、西葛西・井上眼科病院副院長）と秋田新介先生（平14、千葉大学形成外科診療准教授）がお話くださいました。国松先生からは、無意識のうちに行う視野狭窄を緑内障シミュレータで発見し自動車事故を防止しようとする緑内障専門医ならではの着想から、現在の3施設から全国展開を目指している「運転外来」の展望を、また、秋田先生からは、形

成外科の存在意義は何か！という問いかけに、皮膚再建時の組織形成に必須なりンパ管内皮再生に研究基盤を置いた、革新的皮膚抗老化治療のお話しを戴きました。

井上賢治副会長（平5）の閉会の辞で始まった懇親会は、徳久剛史前千葉大学長（昭48）、山本修一前附属病院長（昭58）、13人の現役千葉大学教授のご挨拶や、亥鼻祭実行委員会が寄附金などへのサポートをPRし盛り上がりしました。久しぶりの立食式で、会場にはたくさんさんの輪ができて旧交を温める姿が目立ち、久しぶりに同窓会らしい同窓会を楽しめましたとの声があふれました。

横須賀忠理事（平5）の閉会の辞で散会となりました。

新年会は来年令和6年1月20日（土）銀座アスターお茶の水賓館で開催予定です。奮ってご参加、宜しくお願致します。

（岡本和久）



### 神奈川の は な 会

#### 令和5年度

#### 総会・学術講演会開催

2023年（令和5年）7月8日（土）18時より、

神奈川の は な 会の総会と学術講演会を「PDS横浜会議室」にて開催、WEB会議が平行して行われました。

総会は、理事高山篤也先生（昭56）の司会です。会長（昭56）の西川哲男先生（昭47）のご挨拶を得て、物故者3名のご報告、会計報告などが承認されました。



の は な 同窓会会長の吉原俊雄先生（昭53）は東京の は な 会にご出席の後、横浜までお越しくださいました。ご丁寧なご挨拶を賜りました。

亥鼻祭（2023年11月5日予定）の実行委員の学生さんに西川会長より、奨励金が贈呈されました。その後、学術講演となりました。

横浜労災病院名誉院長西川先生が、「早期治療による糖尿病対策」と題して、専門外でも分かるようにインクレチンのご説明もいた



いただきました。続いて、特別講演となりました。

千葉大学大学院医学研究院長・医学部長の三木隆司先生(昭63)が「腸内細菌叢によるヒトの代謝制御」と題するお話をしてくださいました。旧第二内科に入局、千葉大学医学部高次機能制御研究センター発達生理分野(その後、代謝生理学)で基礎医学研究を続けられています。西川先生とは、先輩、後輩の間柄と云われます。

最初は、研究のお話です。ATP感受性カリウムチャネルの重要性、インクレチン、GIPとGLP-1について易しく解説くださいました。後半は、病院、医学部の責任者としてのお立場です。文部科学省は国立大学の削減を目指している。大学として如何に生き残らなければいけないか、と切実な訴えを承りました。超一流の研究と治療に尽きるようです。ご出席いただきました皆様、ありがとうございます。

(三科孝夫)

後列：飯沼克博(昭55)、野澤聡志(平2)、渡辺義郎(昭56)、北野慎一郎(昭50)、浅川雅透(平7)、平澤晃(昭60)、玉置正勝(平6)、三科孝夫(昭46)、西川哲男(昭47)、五十嵐祥貴(学生)、高山篤也(昭56)

さる7月8日、静岡市内のホテルで総会を開催した。2020年から3年間は新型コロナウイルスの影響で総会は紙上で開催せざるを得なかった。たまたまに集まるのは4年ぶりということになる。ただ参加した会員は13名にとどまるのはちょっと寂しいことであった。

この1年間に亡くなられた会員が3名おられ黙祷を捧げ、庶務報告、会計報告など事務的な内容を終えた後、本部から提供された150周年記念行事に関する話題提供もスライドと資料を用いて行った。その中で昔の千葉医科大学時代の写真や戦時中に胸像を金属供出することになった時の書類など貴重な資料を目にするのことに、皆さん興味深そうにされていた。

### 静岡のほな会

るピングシステム(株)の江田敏彦氏による「医療関連決済の今後」という講演が行われた。世間一般で使われているスマホを使った決済システムの基盤に関わる業務を行ってられる方で、そのようなシステムを医療界に導入するという実験的な取り組みについて解説された。はじめは我々に直接関係しないような気もしていたが、実はこのようなシステムが実用化されると、医療サービス提供のあり方が変わっていくというこ

ともわかり、今後の医療がどのようなものか非常に興味深いものであった。会員は熱心に聞き入り活発な質疑応答もあり、このような話題に触れることができたことも有意義であった。

写真撮影の後は懇親会で、それぞれ近況を語り合い親睦を深めることになった。実際に参加される先生方はみなさん元気にそれぞれの役割を果たされているようであった。静岡県では新規会員が少なく、既存の会員は徐々に高齢化するという



のが現実で、支部としての今後のあり方を真剣に考えなければならぬ時期に来ているように思われるが、やはり実際に会って歓談することの意義を改めて感じることになった。

(宮本恒彦)

写真右から  
前列：菅ヶ谷純弘(昭45)、忍頂寺紀彰(昭42)、江田敏彦(講師)、宮本恒彦(昭54)、尾崎梓(昭40)、土川秀紀(昭44)、天神弘尊(昭45)

後列：山本俊樹(昭51)、名古良輔(昭54)、尾崎正時(昭58)、難波宏樹(昭54)、笠松紀雄(昭56)、中山貴裕(平3)、高橋敏信(昭52)

お詫びと訂正  
192号  
4面  
人事異動  
准教授 ↓ 講師  
小児病態学  
高谷 具純 (平15)  
22面  
研修プログラム  
4段目 35行目  
高谷具純 ↓ 高谷具純  
お詫びして訂正させていただきます。

千葉大学のほな同窓会 会員の皆様へ  
**「会員総合補償制度」のご案内**  
 保険期間：2023年3月1日午後4時～2024年3月1日午後4時(中途加入随時受付)



支払限度額が拡大！ 刑事弁護士費用も補償に。

### 医師賠償責任保険 (勤務医向け)

医療の遂行に起因して、万一患者の身体に障害を与えてしまった場合(死亡を含む)にその法律上の損害賠償責任のご負担を補償します。出張診療中も監督責任を問われた場合も対象。

＜お問合せ先・取扱代理店＞

対人1事故につき支払限度額 **3** 億円(保険期間中9億円) **Z3** タイプ登場

**PIONEER** 株式会社パイオニア  
 Tel 0120-36-8442 Fax 0120-36-1061  
<https://www.pioneerltd.com/>



刑事弁護士費用も補償されるようになりました。  
 産業医等活動保険(任意付帯オプション)も取扱中。

この広告は医師賠償責任保険、産業医等活動保険の概要についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットでご確認ください。また、ご加入にあたっては、必ず重要事項説明をよくお読みください。詳細は団体代表者の方にお渡ししております保険約款および特約になりますが、ご不明な点は取扱代理店または引受保険会社へお尋ねください。



るのはな一杯会

令和5年7月22日、千葉大学亥鼻キャンパス内のはな同窓会館にて、4年ぶりに一杯会が開催された。会員は、千葉中学校、千葉第一高等学校、千葉高等学校を卒業し、千葉医学専門学校、千葉医科大学、千葉大学医学部及び医学部附属病院に在籍した、あるいは在籍中の医師および学生である。今年度は中高一貫校

になったためか、8名もの千葉高等学校卒業生が千葉大学医学部に入学したことは喜ばしいことであった。今回の一杯会には卒業生11名、在学生9名が参集した。田邊政裕会長の開会の挨拶についてご逝去の方を悼み黙祷、その後総会が開催された。会則の一部変更、会計報告や今後の運営など討議された。年長者の中野義澄先生の乾杯の挨拶があり、その後懇親会に移った。

先生方の近況報告があった。医師を含め医療界には千葉高等学校卒業生が多数いることから、高校を同じとする各医療職との繋がりも高めたいとする意見があった。伊藤彰一先生からは、千葉大学医学部や附属病院の現状紹介があった。解剖教室、学生用ラウンジなど学習環境には目を見張るものがあり、今後千葉大学医学部から良き医療人が育成されるのが期待される。また参加された先生方の大卒後の職歴や医師としてのありかたなどの話があり大変盛況であった。その後参加者一同集合写真を撮り閉会とした。

(杉田克生)

写真右から

- 前列：杉田克生(昭54)、水谷正彦(昭52)、中野義澄(昭45)、田邊政裕(昭49)、山本和夫(昭51)、奥田桂子(順大・昭57)、花岡英紀(平5)
- 2列目：諏訪園靖(平6)、萱原慎太郎(医1)、古川裕斗(医5)、外山涼(医5)、清原功基(医4)、菱木知郎(平5)、宮川宏佳(医6)、野口愛香(医4)
- 3列目：吉岡隼之介(医4)、石丸直樹(医3)、伊藤彰一(平10)、城戸聡太(医4)、小野寺淳(平18)

クラス会

郷士会(昭54)

令和5年5月20日(土)

の夕方、帝国ホテルにて郷士会(昭和48年入学、昭和54年卒業)を開催しました。新型コロナウイルス感染症の流行がようやく収まり、この5月8日に2類相当から5類になり、ちょうど良いタイミングで開催されました。ホテル内では他にも多くの集まりがみられ、有楽町駅のあたりは土曜日の夕方ということもあり多くの人で混雑していました。2014年、2017年に続いて6年ぶりの再会で、今回は41名が集まりました。司会進行は田川雅敏君が務めました。田川君には事務局長として、杉浦信之、梶川工君らと共に、本同窓会の開催に際し尽力をしていただきました。始めに郷士会会長の白土英明君から開会の挨拶があり、今までに亡くなられた10名の方に黙とうを捧げました。続いて杉田克生君から庶務報告があり、来年80歳を迎える最年長の松原公護君の乾杯で会が始まりました。ピュッフェスタイルの料理もおいし



く、お酒も飲み放題で楽しいいただき、それぞれのテーブルで会話に花が咲いていました。同級生の多くが今年か来年に70歳の古希を迎えますが、女性陣は変わらない人が多く、男性陣は髪の毛の量に違いがみられる人が増えたようです。前会長で呼吸器内科前教授の巽浩一郎君、小児科前

教授の下条直樹君、千葉市医師会長の斎藤博明君、名古屋から駆けつけてくれた濱口典子君、千葉大学のはな同窓会副会長の栗原正利君、千葉県のはな同窓会副会長(兼務)の中村真人君、静岡県のはな会長の宮本恒彦君、山梨県のはな会長の鶴田好孝君から挨拶、

近況報告がありました。最後に、今でも時間があれば山登りをされ、元気で変わらない嶋田耿子君から閉会の辞が述べられ、2年後の再会を期して散会となりました。あつという間に2時間が過ぎてしまい、2次会をホテルの最上階にあるアクアで行いました。10名が参加し、白土会長の目利きでおいしいワインを飲みながら、また素晴らしい弾き語りや聞きながら楽しいおしゃべりが続き、今回の再会を期して散会となりました。

(今関文夫)

写真右から

- 前列：長眞理子、濱口典子、松林巖、嶋田耿子、松原公護、吉田明子、高野和雄、高田啓一、宮崎泉、萬伸子
- 2列目：巽浩一郎、杉田克生、諸田英夫、岡田修、嶋田務、小林進、下条直樹、梶川工、近藤福雄、沼田勉、巷岡博、高田郁子、小倉成美子、中村真人
- 3列目：杉浦信之、廣島健三、鶴田好孝、石毛俊行、斎藤博明、今関文夫、龍岡穂積、宮本恒彦、難波宏樹、栗原正利、岡野久、掛田充克、永瀬裕三、白土英明、五十嵐忠彦、今井均、田川雅敏



茨城みのはな会

千葉医学教場と茨城医学校の存亡

中央ますいクリニック ペインクリニック内科 松前 孝幸 (昭52)



千葉大学医学部は明治7年(1874年)の共立病院に端を発し、その後医学教場、第一高等学校医学部、千葉医学専門学校、千葉医科大学として昭和24年に千葉大学医学部として今日を迎えています。

一方、茨城県にも県立医学校が明治12年(1879年)に設立されますが、わずか7年後の明治19年に廃校となっています。私は、茨城県にも医学校があったことを平成19年の茨城県医師会報の石島弘之先生(当時副会長)の「茨城県の医師不足に思う」の記事で知りました。

来る2024年には千葉大学は創立150周年を迎え、千葉大学の発展の歴史が話題になっております。特に注目されているのは旧

の後、明治15年(1876年)に県立千葉医学校となり明治20年(1887年)には第一高等学校医学部になりました。当時は千葉市中央区4丁目交差点あたりに学校があり、現在その地に千葉医科大学の生い立ちを記した石碑があります。ちなみに明治初年には帝国大学は1校のみで1886年の帝国大学令により東京帝国大学が誕生しています。帝国大学医学部は東京帝国大学に引き継がれますが、一高医学部は千葉にそのまま残っていました。同じような事情は岡山で、第三高等学校は京都にあるも医学部だけ岡山に残っていました。その後両校とも1901年官立医学専門学校となり1920年の大学令により1923年に医科大学に昇格しました。

この時期大学に昇格したのは官立医専では岡山、新潟、金沢、長崎、千葉、公立医専では熊本でいわゆる「旧六」と呼ばれております。ほかにこの時期医大に昇格したのは公立で京都府立、名古屋です。私立では慶應、慈恵、日医で今でもこれら3校は私立医大受験生の間では御三家と呼ばれる難関校です。その後は戦後1974年新制千葉大

の設立により同医学部となりました。このように千葉大学は順調に発展してきましたが、官立(国立)以外の明治初年設立の多くの医学校が廃校の憂き目にあいました。平野先生は千葉大学が順調に発展できたのは千葉の医学校が第一高医学部であったことが幸運だったのではないかと書いていました。一方、廃校の憂き目にあった一例は茨城医学校です。茨城医学校は千葉と同様の形態で明治11年建設の県立病院に併設する形で明治12年9月に開校されました。第一回生は25名、その後学生は100名近くに及んだそうです。修業年限は3年半で物理・化学・解剖・生理・薬物・内科・外科・眼科・産科などを基本とし、厳しい学則と試験により勉強態度不良のもの、素行不良、学業不良の者を放校した結果、明治19年12月の廃校まで26名しか卒業できなかったのです。県議会においての医学校廃止の理由が多額の地方税を使うも成果が出ない。教師として雇う医学士の給与が高額だったそうです。

全国的には明治12年には医学校は48校も開設されていたそうです(官立2、公立21、私立25)。しかし、その後多くの県立医学校は予算不足で廃校に至っていました。たとえば青森医学校は明治10年設立、明治18年に廃校。埼玉県医学校は明治9年に開校、同12年に廃校。山形県医学校は明治18年開校、同21年に閉校。秋田県医学校は明治8年開校、同20年に閉校など各地の県立医学校の閉校は枚挙にいとまがありません。いずれも経費の破綻が主因です。このようになったのは明治20年「公立学校に地方税をもってこれを支弁するを得ず」との勅令が出たこともあり、余裕のある京都、愛知、大阪は存続して後に愛知は名古屋大学、大阪は大阪大学と国立大学になりました。ただ一つ、この時期に開校の医学校で着実に今日まで一貫して県立として発展を遂げたのは京都府立医大のみです。また私立の医学塾は明治8年より始まった医術開業試験の予備校ですが、これらも乱立しました。その後、公立の甲種医学校の卒業生の開業試験が免除になると入学生が減少、小規模校は廃校に至っています。

ちなみに茨城医学校は乙種でした。これは甲種が医学士3名の教授が必要、また受験資格が旧制中学卒であるのに対して、乙種は医学士1名、受験資格が中学でなくても可でした。各卒でなくても可でした。各地の公立医学校は入学者が定員割れで受験生の質は悪かったそうです。当時の医師はそううらやましい職業ではなかったようです。野口英世が学んだ私塾、最大規模の済世学舎は存続してその後廃校になっても在校生救済の目的で日本医学校、日本医大へと発展を遂げました。成医会講習所の慈恵も存続しました。同様に予備校に起源を持たない医学部は日本大学です。昭和17年に医専より医学部に昇格しました。廃校した茨城医学校のその後ですが、病院と学校は明治19年に民間に払い下げられました。その後の経過は経営母体が何かはわかりませんが明治21年済世病院として開院しました。初代院長として招聘されたのは波多野惇でした。福井藩士の次子、帝国大学医学部明治20年卒です。彼は水戸市医師会の設立にも関わり、明治34年には茨城県医師会の初代会頭に就任しています。従来は茨城県の医療を支えたのは、東北大学、千葉大学その他多くの大学の力

(いばらき むのはな 第9号より転載一部略)



# 四半世紀・半世紀 卒業生の集い

## 千葉大学医学部ホームカミングデー

開催日：令和5年11月19日(日)

13:30～

場所：ろのはな同窓会館 (参加者人数により変更の可能性があります)

ご案内学年： 昭和48年卒業生 (卒後50年)

平成10年卒業生 (卒後25年)

\* 昭和38年卒業生 (卒後60年)

次面に卒業当時の  
ろのはな同窓会報を掲載

千葉大学医学部

卒後50年卒業生皆様

卒後25年卒業生皆様

卒後60年卒業生皆様



begin.continue

ろのはな同窓会会長  
吉原 俊雄

千葉大学医学部ろのはな同窓会会員の皆様の日頃の御活躍には、同窓会として心より感謝申し上げます。

つきましては、母校においてホームカミングデーを開催し、卒後50年(昭和48年卒)、卒後25年(平成10年卒)、\*卒後60年(昭和38年卒)の会員皆様の日頃の御活躍への感謝の念をお伝えし、感謝状・激励状および記念品を贈呈いたしたいと存じます。

万障お繰り合わせのうえ、ご参集頂けましたら幸いです。

\*本年度は、特別に卒後60年の会員もご招待いたします。



(1) 1972年11月1日

るのほな同窓会報

第51号

# るのほな

千葉大学医学部同窓会報 第51号

編集兼発行者  
千葉大学医学部  
るのほな同窓会報編集部  
千葉市亥鼻町313  
千葉大学医学部記念講堂内



## 酷暑を衝いて総会開催

### ……閉会后中島屋会も……

本年のるのほな同窓会総会は去る七月二十日、医学部記念講堂において開催された。

本会では例年出席者が少ないので、一部には総会の開催日時の繰り上げを主張する声もあったようであるが、今年もまたあふら照りの統

### 一般方向学外とせよ

会長挨拶 鈴木五郎

本日、この総会を開くに当たって、役員を中心に少敷御多用中お集り下す。向に有り、役員が顔を出し程度であります。がどうか、総会に会員がこれには、別に無関心というも集まりがよくなることとがよいくいわれ、役員としては、いつも気にかかるところでもあつて何かと工夫を凝らすのであります。

それで各士の講演会を催したりもしました。荒井秀雄(自然保護) 中島屋(最近の世) 界情勢(二) 猪熊盛一郎(米十五年闘争の回想) その他ですが、それで集まりが特によかったといふことはいえないようでした。話を聞いた我々には大変有益ではあります。

そこで私は思うのです。凡そこうした総会といふものは、概して出席者の多くないのが常で、千葉医学部同窓会でも、私共の国立病院関係の学会の総会等でも、事得をきいたといわれ、敵は本会等務総会といふのは病室のよくな

会員が相集つて、中島屋夫妻の健康を祝する会を開催したからであった。

今年には役員会、総会合同で開催

会長挨拶にはじまり、学長、医学部長の学内近況報告、会務報告と顧問に進行し、昭和47年度決算

の教に達し、なかなかの盛況で、司会者から昭和五十年が本

会のおかけで生など冗談を云披露され、同窓会としての記念事

つて中島屋に下宿していた多くの 謝を……という提案がなされた。



東氏意思を示したのだといわれて、協賛してこの立派な講堂も出来たのであります。第二次大戦終末において、米軍は一般方向を潰す結果、互弱態、緊密な連携という点から、報の編集が、会の目的である相互支援、緊密な連携という点から、欠くこと出来ない仕事であります。この仕事を担当する各位には感謝しなければなりません。

わがるのほな同窓会——今日の立派な会館になるこの同窓の結成には、ここに松村先生もおられましたが、谷川久治、友永得郎、吉田学内スタッフは、研究に、教育に、極めて重要な役割を果して下さるべく、多々の人材を養成して広く学外へ向って送り出した。あつたのであります。その結成に、公私医療機関、医療機関との連携を緊密にして、同窓会の健全なる発展に、同窓会が貢献すべきであります。各位の健康を祈ります。

期を期して安定状態に、同窓会館が、また医学部八十五周年記念事業には、力を健康を祈ります。

<https://inohana.jp/report/pdf/51.pdf>

右の二次元コードからるのほな同窓会報51号をご覧ください







千葉大学医学部同窓会報 第116号 題字 故 鈴木五郎 (大11卒 元るのほな同窓会長)

編集発行者 千葉大学医学部 るのほな同窓会報編集部 〒260 千葉市中央区亥鼻1-8-1 千葉大学医学部内 るのほな同窓会 電話 (043) 222-7171 内線5026

### 新春に寄せて

るのほな同窓会会長 井出源四郎 (昭19卒)

頌春。会員の皆様には、ご健勝にて新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本るのほな同窓会も各位のご愛顧により、遂年の活性化が進みつつあり、各位の活動が活発になり、遠くまでお慶び申し上げます。

さて、私は幼い頃から年末年始の時期を大切に「けじめ」と心得て、毎年生きて参りました。皆様方も夫々同様の感慨をお持ちのこと

とありますが、私の場合は殊更に生まれ育った環境が可成り強烈な印象を与えたことだと思っております。

私の故郷は信州佐久という四方山に囲まれた盆地で、年末年始のこの時期は今日とは異なり峻烈な吹雪と凍てついた道路、家業は小さな地酒の蔵元。親父とお袋を先頭に十人兄弟姉妹という大家族。加えて蔵人を始めとする大勢の従業員の方々と、酒売りを中心に厳しい、忙しい真冬を生きて抜くという幼年時代の体験が、今日もお強烈な印象として脳裏に刻まれているからだと思います。

今年も亦、この「けじめ」の時期に当って一年を回顧してみますと、脳裏を

めぐる様々なことがありまして、良きこと、悪しきこと、次々と想起されますが、悪いことの方が断然に多かったです。そんな中で唯一、私の心を揺さぶった感動的な出来事がありました。それは九月六日、マザーテレサの逝去の日であります。それから数日後の深夜、NHKの「マザー追悼の座談会」の放映を見聞きする機会を得ました。その中で映画監督の千葉さんがマザーの映像をフィルムに収めるべく、追求した時の感想を述べておられました。私は強い感動を覚えました。私は強く感動を覚えました。以下千葉監督が語られた感慨を私なりに傾聴したことの纏めとして、記憶を辿りながら書き記します。

「映像を撮るという視点でマザーを追いかける時、先づは三つの感銘を忘れることが出来ません。その第一は、マザーの猫背の上に乗りかかろうと見える猫のような盛り上がりでありました。カメラを廻しながらマザーの姿を追いつける時、それは「祈り」の一杯につまんだ塊りと思われず、吸い寄せられるように行っていたことを忘れられません。祈りとはこういうものかと思ひ知らされ

ました。第二は、マザーの手であります。節くれ立ったその手、その指は農夫の手であり、熟練工の指であり、まさに鍛練の表徴として表れようのない強さ、逞しさを帯びておりました。そして第三こそ、彼女の表情であります。顔面無数に刻まれたその皺は、これこそ苦悩と欲求の交錯に依つてのみ刻り出された歴史の「ひだ」としか言いようのないもので、両の目はきらきらと輝き何物にも代え難い宝石を彷彿とらしむるもので、又、両の頬と口許には絶えることのない微笑みが溢れるように湛えられ、これぞ「愛の泉」とでもいうのであります。一言で言い表し得ないことながら、貧しき者、病める者、そして死を待つ人々の総てが「真の母」として慕い、抱かれていたに違いない

と思わずには居られません。その手、その指は農夫の手であり、熟練工の指であり、まさに鍛練の表徴として表れようのない強さ、逞しさを帯びておりました。そして第三こそ、彼女の表情であります。顔面無数に刻まれたその皺は、これこそ苦悩と欲求の交錯に依つてのみ刻り出された歴史の「ひだ」としか言いようのないもので、両の目はきらきらと輝き何物にも代え難い宝石を彷彿とらしむるもので、又、両の頬と口許には絶えることのない微笑みが溢れるように湛えられ、これぞ「愛の泉」とでもいうのであります。一言で言い表し得ないことながら、貧しき者、病める者、そして死を待つ人々の総てが「真の母」として慕い、抱かれていたに違いない

とせずには居られません。その手、その指は農夫の手であり、熟練工の指であり、まさに鍛練の表徴として表れようのない強さ、逞しさを帯びておりました。そして第三こそ、彼女の表情であります。顔面無数に刻まれたその皺は、これこそ苦悩と欲求の交錯に依つてのみ刻り出された歴史の「ひだ」としか言いようのないもので、両の目はきらきらと輝き何物にも代え難い宝石を彷彿とらしむるもので、又、両の頬と口許には絶えることのない微笑みが溢れるように湛えられ、これぞ「愛の泉」とでもいうのであります。一言で言い表し得ないことながら、貧しき者、病める者、そして死を待つ人々の総てが「真の母」として慕い、抱かれていたに違いない

**第25回日本医学会総会プレシンポジウム 千葉県プライマリー・ケア研究会第3回学術集会**

メインテーマ：「社会とともに歩む医学」

シンポジウム 懇話

テーマ：「お年寄りのめんどうは誰がみるか」

「医療」秋葉哲生 (伝統医学研究会あきば病院)  
 「行政」生原弘子 (鎌ヶ谷市高齢者福祉課介護支援係)  
 「看護」野口美和子 (千葉大学看護学部)  
 「家族」永島光枝 (ボケ老人をかかえる家族の会)

特別講演 懇話

「死の臨床 - 生命の尊厳」

千葉大学医学部第2外科教授 磯野可一先生

日時：平成10年4月26日(日) 13:00~16:30  
 場所：千葉県医療センター1階講堂  
 千葉市中央区千葉港5-25 TEL 043-242-4271  
 参加費：無 料 (本学医学部は総会の主務機関の一つ)

最終講義・記念式典のご案内

一、最終講義

○三方淳男教授

日時 平成10年2月3日(火) 午後2時30分

場所 医学部本館5階大講義室

○新美仁男教授

日時 平成10年2月4日(水) 午後2時30分

場所 医学部附属病院第一講義室

○磯野可一教授

日時 平成10年2月6日(金) 午後2時30分

場所 医学部附属病院第一講義室

演題 癌治療の変遷

二、記念式典(合同)

日時 平成10年3月14日(日) 午後2時

場所 医学部附属病院第一講義室

○記念講演

日時 平成10年3月14日(日) 午後3時30分

場所 医学部附属病院第一講義室

演者 文部省医学教育課長 木谷雅人氏

演題 「21世紀に向けた医療人の育成について」

○祝賀会

日時 平成10年3月14日(日) 午後4時30分

場所 医学部附属病院第三講義室

平成九年度 秋の叙勲者	小林 清氏 (昭17)
	熱五等双光旭日章
	竹内志郎氏 (専18)
	熱五等瑞宝章
	郡山春男氏 (昭21)
	熱三等旭日中綬章
	波田野基一氏 (昭23)
	熱三等旭日中綬章
	嶋村欣一氏 (昭23)
	熱三等瑞宝章
	実川 三郎氏 (昭23)
	西 三郎氏 (昭29)
	熱三等瑞宝章
	梅村喜夫氏 (昭29)
	熱五等瑞宝章
表彰	社会保険支基金功績者 厚生大臣表彰
	大久保春男氏 (昭28)
	瀬田勝雄氏 (昭32)
	堀江 武氏 (昭35)
	精神保健福祉事業功労者 厚生大臣表彰
	仙波恒雄氏 (昭32)
	日医最高優功賞
	神田 敬氏 (昭35)
	千葉県知事表彰
	森 博志氏 (昭31)

**次回四金会のお知らせ**

平成10年2月25日(日) 午後5時30分より、千葉駅ビル5階ペリエホールにて開催致します。個々に御連絡致しますが、是非奮って御参加下さい。

会費は三〇〇〇円

<https://inohana.jp/report/pdf/116.pdf>

右の二次元コードからるのほな同窓会報116号をご覧ください





# 研修プログラム

## 千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学


千葉大学大学院医学研究院 救急集中治療医学

教授 中田孝明(平11)


千葉大学救急集中治療医学教室では、ドクターカーや消防防災ヘリを積極的に用いた病院前救急診療から、救急初療室における幅広い病態を呈する救急患者への初期診療、そして集中治療室(ICU)での重症患者に対する集学的治療まで、途切れることのない救急・集中治療を実践しています。私たちは、現場の最前線であらゆる生命の危機に對峙し、患者を救命することに大きなやりがいを感じています。

私たちの研修プログラムの1つ目の特徴は、充実した研修関連施設です(図)。まず千葉大病院は、国内でもトップクラスの救命センターとICUで、充実した設備・指導の下で幅広い多くの症例を経験することができます。指導者としては、救急・集中治療に加えて外科・麻酔科・小児科・血管内治療など様々な専門研修


2つ目の特徴は持続可能な働き方を積極的に推進していることです(図)。かつて救急医は長時間労働など過酷な労働条件のイメージでしたが、当教室では働き方改革の時流に早期に対応し救急・集中治療の持続可能な働き方を実践しています。具体的には、先進的にソフト制勤務を導入しており、十分な休息を確保するとともに、様々なライフイベントにも柔軟に対応できる働き方を実現しています。また、19名在籍している女性救急医もライフステージに合わせて継続的に働けるように、支援体制も整えています。




**豊富な症例  
充実した指導体制**



**多彩な  
研修関連施設**



**持続可能な  
働き方**



**基礎・臨床研究と  
教育**

**個々人の希望に合わせて利用可能な「出入り自由」の新時代の医局**

由の「新時代の医局」として皆さんの成長を手助けします。医局に使われるのではなく、これからは医局を活用する時代です。救急・集中治療の最前線で活躍したい学生さんや研修医の先

生、また当教室に興味を持たれた他病院で活躍の先生がいらつしやいましたら、お気軽に当方までご連絡ください。救急・集中治療の未来を、一緒に、楽しく創造していきましょう。

### 独立行政法人地域医療機能推進機構(JCHO) 船橋中央病院

副院長・千葉大学医学部臨床教授

深澤元晴(昭63)

当院は、74年前の昭和24年に社会保険病院として設立され、船橋市では最も伝統ある病院の一つです。平成26年4月からは、厚生労働省直轄の独立行政法人である地域医療機能推進機構に改組され、現在に至っています。

船橋市は、東京近郊の人口約64万人の中核市で東葛南部医療圏に属しています。病床数は399床で、健康管理センター、周産期母子医療センター、内視鏡センター、消化器病センター、骨粗鬆症センター、インプラントセンターを併設し、船橋市では最大規模の中核病院・急性期病院となっています。常勤医は約60〜70名で、18診療科が揃っています。救急では2次医療を担っており、年間2000

台を超える救急車を受け入れていきます。当院の特色として、消化管内視鏡が上部・下部合わせ、年間7000〜10000症例があり、研修医も積極的に参加しています。また、市内では最大規模の血液専門診療を行っており、多数の紹介患者さんがいます。周産期医療では、母体搬送件数が県内第1位で、高いレベルの医療を提供しています。

初期研修医は、令和6年度では基幹型5名(1学年)、千葉大学医学部附属病院との協力型2名を受け入れます。ここ数年は、マッチングプログラムでは、フルタイムで研修できるような学生は、近隣だけではなく、全国からみられます。初期研修では、プラ

イマリケアの実践に重点をおいて指導しています。当院は、研修医の数が、他と比べて比較的多くないため、マンツーマン指導体制を行っています。このため研修医の各力量に合わせて研修が可能で、また、手技などは、他の研修医と症例の取り合いになることはなく、かなりの件数を経験できます。どんなに積極的に経験してもらおうこととしていきます。また、研修スケジュールは、選択科も多く、フレキシブルに調整できるようにしています。当直は、必ず指導医とペアで行い、安心して当直業務をこなせる体制をとっています。また、定期的に研修医ミーティングを開き、研修の進捗状況などをチェック、同時にアドバイスなどを行い研修が円滑に行えるよう指導しています。

なお、小児科・精神科・地域医療の研修は当院外の近隣協力施設となりますが、小児科は、船橋市立医療センターに、精神科は復光会総武病院に、地域医療は近隣の診療所・病院(在宅を含む)にて研修できるようにしています。

後期研修では、千葉大学医学部附属病院各診療科から派遣していただいている











# 欧州医学史巡り

## プラハ

杉田 克生 (昭54)

チェコ共和国は、ドイツ、ポーランド、オーストリア、スロバキアの4カ国に囲まれた中央ヨーロッパに位置する共和制国家である。ハプスブルク家の支配や二度の世界大戦の動乱の歴史を経て、1989年のビロード革命により共産主義体制が崩壊し、民主主義に移行した。人口は1,054万人で、医学部は国立マサリク大学・国立カレル大学にあり、各大学で授与される学位は、EU諸国では自動的に受け入れられる。

この国の医学者で最も有名なのはプルキンエ (Jan Evangelista Purkyně 1787-1869) である。ボヘミアの小都市Libochoviceで貧しい農家の長男として生まれた。10歳の時に父親が亡くなり、モラヴィアの神学校や修道会で聖職者になるための教育を受けた。18歳でプラハのカレル大学哲学科に2年間で在籍し、その後医学部に入学した。

プルキンエは臨床より研究を目指し、特に生理学に興味をもった。卒業後、同

大学解剖学・生理学教室の助手として勤務し、光覚についての研究を進めた。彼が自由な考え方が災いしなかなかに地位が得られなかったが、40歳でブレスラウ(旧Schlesianの首都、現ポーランドのWrocław) 生理学

教授となった。研究業績は、実験薬理学、実験心理学、音声学、組織学、胎生学および人類学にわたり、類まれな優れた観察と実験に支えられた結果であった。彼の名がつく用語としては、Purkyně活樹、Purkyně像、Purkyně現象などの光覚に関する現象、Purkyněの眩暈の法則、Purkyně小胞、Purkyně細胞、Purkyně線維などである、特に彼の名を不朽にしたのはPurkyně細



写真 プルキンエ住居跡を示すプレート (上部壁面)

胞だが、彼が図示したのは西洋なし形の細胞体と軸索および樹状突起の起始部のみで、複雑な突起の全貌の解明は30年後のゴルジ法の出現を待たねばならなかった。彼の弟子には、Rosenthal fiberで名を残したローゼンタールがいる。

63歳の時に、カレル大学生理学教授に任命されたが、研究からは遠ざかり、教育を通して祖国の科学振興に挺身した。晩年は尿路結石の激痛にめげず、1869年に亡くなるまで学問、文化、政治など多方面にわたり活動した。

筆者がプラハを訪問した際プルキンエの住居跡をガイドが案内してくれた。それを示すプレート(写真)中央にはプルキンエの側面像がある。両側には「ZDE ŽIL A ZEMŘEL (ここ)で生きて死んだ) JAN EV. PVRKYNE VENOVOANO (献呈) SP. C. LEKARV (チェコ医師会) A (and) VM. BESEDOV (芸術家協会)」とある。この建物の側面通りは、現在プルキンエ通り(PURKYNŮVA)と称されている。

第15回 日本Acute Care Surgery学会学術集会  
The 15th Annual Meeting of the Japanese Society for Acute Care Surgery

判断力 決断力  
Judgement Determination

その先の 夢 Dream

2023年 10月6日(金)・7日(土)  
グランドニッコー東京ベイ 舞浜  
〒279-0031 千葉県浦安市舞浜1-7

会長 松原 久裕  
千葉大学 大学院医学研究科 先端応用外科 教授

副会長 中田 孝明  
千葉大学 大学院医学研究科 救急集中治療医 教授

開催期間 2023年4月19日(金)~6月7日(日)

主催 株式会社 サンプラネット・メテオ・コンベンション事業部  
〒112-0012 東京都港区赤坂2-10-15 赤坂サンプラネットビル4F  
TEL: 03-5940-2814 FAX: 03-5942-6296  
E-mail: 15@accs.jp

第98回 千葉医学会 学術大会  
Chiba Medical Society

期日 2023.12.8 (金) 15:00~17:15

会場 千葉大学あのはな記念講堂 (千葉大学亥鼻キャンパス内)

参加費 無料

申込手続 不要 (オンライン配信はありません)

特別講演 ロンドン・ニューヨークそして千葉で学んだこと  
演者 服部 孝道 先生  
千葉大学 名誉教授  
医療法人同和会 理事長

招待講演 21世紀の脳神経内科学  
演者 桑原 聡 先生  
千葉大学大学院医学研究科 脳神経内科学 教授

座長 桑原 聡 先生 服部 孝道 先生

※本講演会は日本医師会生涯教育講座(1単位、CC:0)として承認されています。  
※この場の際は、公共の交通機関をご利用ください。多くのご来場をお待ち申し上げております。

お問い合わせ 千葉医学会  
〒260-8670 千葉市中央区亥鼻1-8-1 千葉大学医学部内  
TEL: 043-202-3755 FAX: 043-202-3757  
E-mail: info@c-med.org https://www.c-med.org



# 会員から

## 「こどもとおとなのクリニック パウルーム」 新規開業に際して

黒木春郎(昭59)

本を並べてその中で過ごしてみたい。本に囲まれてじっくりしていると、時間が過ぎていくことがわからない。良い本にはそのような力がある。気分が沈んでいるとき物語に触れる、そうするといつの間にか回復している。そして自分の悩みも不調もすべて、これまで誰かが経験してきたことであるとわかる。それは知性の力といえるかもしれない、芸術の魅力なのかもしれない。そうした力を医療の中に取り入れたいと考えた。これまでになくクリニックを構想した。地域のプライマリケアを一段落させて、次の段階を想定してみた。医療過疎地域で展開してきたので、次は都市部を考えたい。都市部と田舎の違いは情報量の相違である。都市の中心にいと情報交換が目まぐるしいことがわかる。そのようなことを考えながら、旧知の(公財)松山

バレエ団とのつながりもあり、2023年4月に、東京都港区で小児科のクリニックを開業した。こどもとそこご家族、急性疾患からメンタルヘルスまで、幅広く対応する。医療の基本はプライマリケアであり総合診療と考えるからである。オンライン診療を導入しており、外出困難な方、遠隔での心理相談、COVID-19をはじめとした感染性疾患にも活用していく。アレルギー性鼻炎の舌下免疫療法も取り入れる。漢方薬も積極的に勧めている。乳幼児検診・ワクチン・子育てのご相談にも応じる。

クリニックは、東京メトロ銀座線「外苑前」3番出口を出て見上げると、すぐに目につくビルの6階だ。中に入ると一面の白い本棚いっぱいには児童書が並び、(図書室の中のクリニック)と銘打った。公認心理師による読書セラピーも行っている。

医師(小児科専門医、感染症専門医、子どもの心相談医)、心理師、助産師、保育士という専門職により、

こどもとおとなの心と体の健康を増進させるお手伝いのできればと思っている。



©2023 フォトグラファー 河合 克成 株式会社125

### 近況報告

## 囲碁アマチュア本因坊戦

### 埼玉県大会 優勝

日野 大地 (平28)

皆様ががご過(し)でしようか。深谷赤十字病院に勤務しております、入局6年目の日野大地と申します。近況報告として筆を執らせていただきます。

早速ですが7月16日に行われた囲碁アマチュア本因坊埼玉県大会で優勝することができましたのでご報告いたします。昨年は準優勝でしたので、リベンジできてうれしく思います。深谷赤十字病院長伊藤博先生も囲碁を嗜まれるため、大変喜んで下さいました。8月26、27日に行われる全国大会では日本一を目指して頑張りたいと思います。

囲碁ではその時の精神状態がそのまま盤上に表れます。心が荒んでいると碁も汚くなり、心がきれいだとうれしい碁が打てます。古より棋士たちは囲碁の技量を高めるために日々の生活において礼節を重んじ、己を節制し高めてきました。

今回自分は非常によい精神状態で勝負に臨めたと思えます。その大きな要因として、毎朝の筋トレによる肉體改造があげられます。泌尿器科部長室には懸垂マシンが備えられており、懸垂やディップス等のトレーニングがいつでも可能です。部長の千葉量人先生より「手術において最後に自分を助けるのは筋肉だ」との言葉を授かり、学生時代以来10年ぶりに筋トレを再開いたしました。毎朝出勤すると、まず私は誰もいない部長室へ参ります。そこで20分程強烈に自分を追い込んだのちに、汗ばんだ状態で病棟へと向かいます。

「筋肉は筋肉それ自体を目的として鍛えられねばならない」と説いた三島由紀夫に背く形になります。図らずも毎日のトレーニングの結果として手術技術の向上、さらに精神面での安定がもたらされたと感じます。



左 : 深谷赤十字病院長 伊藤博先生  
中央 : 日野大地先生  
右 : 泌尿器科部長 千葉量人先生

以上、近況報告となりました。己を高めた若手の先生方、ぜひ深谷で一緒に働きましょう！  
(泌尿器科通信 2023・7・16より転載)

ある時、筋肉は困難な「DR」症例において私を救いました。以前なら困難を極めたであろう前壁の大きな腫瘍も左手の強力なプレスが効き完遂することができました。ロボット手術全盛の時代にあっても泌尿器科外科医にとつて強靱な肉体が必要であることを実感した次第です。深谷に赴任してから手術・筋トレ・囲碁が三位一体となり成長できている実感があります。これはひとえに毎日楽しく働ける環境を作ってくださる千葉先生はじめ同僚の先生方のおかげであり感謝申し上げます。

医療法人社団嗣業の会  
こどもとおとなのクリニック パウルーム  
〒107-0061  
東京都港区北青山2-13-4 青山MYビル6階  
TEL 03-6804-1892  
<https://pauroom.jp/>



# 学内情報

## 2023年度亥鼻祭開催のお知らせ

2023年11月5日(日) 於 亥鼻キャンパス

亥鼻祭実行委員会サークル

委員長 葉学部3年 山崎拓海  
葉学部3年 鳴坂花菜

亥鼻祭は、千葉大学亥鼻キャンパスで毎年11月初旬に開催される大学祭で、医学部、薬学部、看護学部の三学部の学生が協同して実施しております。新型コロナウイルスの影響により、2020年度開催からの3年間は活動や開催に多くの障壁がございました。しかしながら、2020年度、2021年度にはオンライン開催とYouTube生配信での開催、そして昨年度には待望の实地開催と、状況に応じて柔軟な開催を行うて参りました。多くの大学

祭が開催を断念する中、一度も欠かすことなく亥鼻祭のバトンを繋ぐことができたのはひとえに先輩方のご支援ご協力のおかげでございます。改めて感謝申し上げます。

2023年度の亥鼻祭は11月5日(日)に实地での開催を予定しております。新型コロナウイルス感染症への引き下げも踏まえ、今年度は食品販売の復活も視野に入れて準備を進めております。亥鼻祭は近隣住民の方々や協賛企業様、病院・クリニック



亥鼻祭2023ロゴ

様、いつも我々を支えてくださっている先輩方、千葉大学に関心を寄せておられる受験生や関係者の皆様、そして何より、学生の成長を見守ってくださる保護者の皆様との交流、親睦の場としての機能も果たして参りました。コロナ禍で制限されていた人と人との関わり、そして亥鼻祭の活気を少しずつ取り戻していきたいと考えております。

2023年度の亥鼻祭のテーマは「GIFT」です。亥鼻祭が、ご来場の皆様、ご参加いただいたすべての皆様にとって大切な贈り物のようなイベントになることを願い、このテーマに決定いたしました。また、コロナ禍を支えてくださった全ての皆様、亥鼻祭の歴史を繋いでくださった先輩方への恩返しや感謝の意味合いも込めております。

これまで長きにわたって亥鼻祭が開催できたのも、同窓会の皆様をはじめ、近隣住民や保護者の皆様のご支援ご協力の賜物でございます。謹んで御礼申し上げます。皆様への感謝の気持ちを忘れず、委員一丸となって活動して参ります。学生一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

# 課外活動団体より

## 亥鼻フットサル部

医学部3年 角本頌磨

亥鼻フットサル部は男子部と女子部で構成されており、医学部、薬学部、看護学部の学生が所属しています。週に2回の活動があり、男子部は月曜日と木曜日、女子部は月曜日と金曜日に本千葉駅近くのフットサルコートで活動しています。チームの大きな目標は、毎年7月下旬に開催される医療系看護学部フットサル大会で優勝することです。さらに、11月の秋大会や3月の春大会で結果を残すことにも力を入れています。

普段の練習ではマネージャーが動画を撮影しながら自分たちの課題について話し合い、改善するための努力をしています。大会に向けては、他大学のフットサル部との練習試合を増やし、本番を想定した試合の中で自分達を評価し、対戦した相手に対して本番ではどう立ち向かうかを議論しています。話し合いでは個々の意見を持ち

あり、メンバー一人一人の責任が大きい。試合中に自分の役割を意識することが重要です。話し合いを通じて、皆が共通認識をもつことができ、選手間の連携をより良いものにしていきます。

また、フットサル部は技術の向上だけではなく、人間関係やコミュニケーションの大切さも重視し、部員が笑顔で充実した時間を過ごせるような環境づくりを大切にしています。そして、楽しい雰囲気の中で交流しながらも、お互いの成長や目標に向けて切磋琢磨すること、部員はより一層モチベーションを高めています。

昨年年度の医療系看護学部フットサル大会では、残念ながら3位に終わりましたが、チーム全体でより良い結果を残すために努力しています。部活動が継続できているのは、卒業した先輩方や幹部交代後も部活に来てくれる多くの先輩方の支えのおかげです。感謝の気持ちを忘れずに、フットサルを楽しみながら活動を続けていきたいと思っています。フットサル部はまだ歴史が浅いですが、日々の活動を大切にして成長していきたいと考えています。

代表: 角本頌磨(医3)  
副代表: 小島大夢(医2)  
会 計: 藤原聡志(医3)  
遠 征: 飯岡陽菜(看3)



代表: 角本頌磨(医3)  
副代表: 小島大夢(医2)  
会 計: 藤原聡志(医3)  
遠 征: 飯岡陽菜(看3)





# 同窓会員著書の紹介

服部孝道(昭42) 著

## 日本の曙(筑紫、出雲、吉備王国の盛衰)

## 日本の曙(ヤマト大王国の誕生)

(株) 双文社印刷  
紹介者 松本 生(昭36)



重だ。数々の知見が今までに発表されているが、その中には研究者の視点に立って学説として述べられているものもあり事実を知ろうとすれば膨大な書物に当たらなければならぬ。1、2冊読めば全てがわかるという本はないものか、かねがねそんなことを思っていたとき『日本の曙』というこの2巻に出合った。

日本という国がどのように始まり、その後どのような歴史をたどって発展したのか。我々の祖先は何者なのか。多くの歴史学者がその解明に取り組んできた。文字のない時代のことは地中から掘り出した遺物・遺跡の解析から、文字が生まれてからは書き残された記録から多くの事実が分かってきている。文字として残っている記録は国内にあるものばかりでなく中国に残された日本に関する資料も貴

るようだが戦前の世代には懐かしい部分だ。

第二巻にあたる『ヤマト大王国の誕生』では初期ヤマト王朝が纏向遺跡に誕生してから、河内王朝を経て列島支配をほぼ完了し、今日の皇室にまで続く継体、欽明王朝誕生までが述べられている。当時としては目を瞠るような巨大水路、金属器の生産から古墳の分類にまで話題が広がり日本書紀の伝承に基く興味深い話が入っている。神武天皇の東征伝説は戦後の歴史教科書には載っていないと思うが古事記、日本書紀のどちらにも書かれているから全く根拠のない話ではなからう。ここでは日本書紀の記述に沿って述べられている。歴代天皇についても代を追って克明に書かれており今まで知らなかった知識を得ることができた。このように個々の章を拾い上げていくと際限がないので、あとは読んでいただくしかないだろう。

世界には193の国連加盟国がある。しかし、その中で千数百年に亘って他国の侵略を受けずに一つの国として一つの皇統を保って存続してきた国は日本以外にない。この本はそのたった一つの国の歴史に寄り添った

著者の思いが行間から読者に語りかけてくる書物だ。※この書籍の入手を希望さ

松永正訓(昭62) 著

## 1文が書ければ

## 2000字の文章は書ける

日本実業出版社 定価 1500円(税別)



れる方はるのほな同窓会事務局までご連絡ください。

に仕上げるには、「分かりやすい1文」読みやすい1文」が必要になります。そのためには、語順と読点の打ち方が非常に大事になってきます。

2000字の文章を50回書けば、10万字になります。この分量は1冊の本です。つまり2000字をしっかりと

世の中には文章術の本がいくらでもあります。医者や書いたものはまずないでしょう。たいていは新聞記者などの文系の人が書いたものです。医者である私が書く以上は、個人的な文章術になっています。その最大の特徴は、文章をセンスで書かず、理詰めで書くということです。

り書ければ1冊の本を作ることができのです。その2000字を魅力的にするためには「生きている文章」「絵が見える文章」が大切になります。そういったテクニクも解説しました。

自分なりに文章術を書いた理由は二つあります。一つはこれまでにくさんの本を読んで、その文章技術が自分にとって血となり肉となったことです。つまりインプットがとても大きかった。

もう一つは、学会の抄録や研究費の申請などで、自分の日本語を大沼直躬名誉教授に徹底的に手直ししていただいたことです。私が

研修医のとき、最初に書いた日本語の症例報告を直してくれたのも、当時医局長だった大沼先生です。その後、19年間、私は一人の先生に指導を受け続けたことになりました。これによって文章技術が上がりました。

本書は326ページありますが、値段は1500円です。今の時代にかなり安いと思いませんか？ 私もう驚いています。私の持っている文章術のすべてを注ぎ込んだ1冊です。普段書いていた文章をワンランク上げたい方、1冊の本を世に出してみたい方、ぜひ、手に取っててください。

文章の基本は2000字であると考えます。2000字は分量として書きやすく、また読まれやすい量でもあります。2000字が読者の頭にすつと入るよう

### Rally of Enthusiasm and Wisdom

熱意と叡智の結集

## 第64回日本肺癌学会学術集会

The 64th Annual Meeting of the Japan Lung Cancer Society

会期 | 2023年11月2日(木) - 4日(土)  
会場 | 幕張メッセ (国際会議場・展示ホール8)  
会長 | 吉野 一郎

大会事務局 | 千葉大学大学院医学研究院 呼吸器腫瘍学(津田) | 〒260-8670 千葉県千葉市中央区東1-1-1 TEL: 043-222-7171 FAX: 043-226-2172  
連絡先 | 株式会社ユンレ | 〒103-8275 東京都中央区日本橋3-10-6 オフィス・パークシティ | TEL: 03-5810-3701 FAX: 03-5810-3702 E-mail: jlc2023@yongre.co.jp



# 歴史研究

石出猛史(昭52)

「歴史研究」という用語の解説には、人間に関して「過去におこった事実」を調べて、「記述する」ことであると述べられていく。過去の事実について調べる対象は史料である。史料とは、研究の材料として用いるものであるから、古文書・遺跡・遺物だけではなく、人間の行動の軌跡が確認できるものであれば、すべてあてはまるとされている。史料の価値について、公的なものを一等史料、私的なものを二等史料とする分類もあるが、公文書が必ずしも信頼性があるわけではないことは、近年の事件を省みれば明らかである。

「史料批判」という術語がある。19世紀のドイツ史学で成立したもので、いくつかの決められた基準に従って、史料の信憑性・価値などを測る方法である。この方法は歴史研究に科学性をもたらしたものとされている。史料を利用するにあたって最も重要なことである。

古代ローマの政治家で歴

史家のタキトゥス(Cornelius Tacitus) (56頃〜120頃)が著した『ゲルマニア』という歴史書がある。ゲルマニアとは、ローマ帝国時代にゲルマン人諸部族が居住していた、ライン河の東方からドナウ河の北方一帯に對して、古代ローマ人が用いた呼称である。『ゲルマニア』は、ゲルマニア地方の風土、諸部族の性格・慣習・制度・伝承などについてまとめた書である。ローマ時代の歴史書として、ゲルマン史研究の上で第一の史料とされてきた。しかしタキトゥスが一度もゲルマニアに行ったことがないこと、著述の内容が他者からの伝聞であること、また記述に間違いもみられることなどから、歴史書ではなく物語であるとの見方もある。

伝承を史料として、史実を明らかにした例もある。シュリーマン Heinrich Schliemann (1822〜1890) がホメーロスの長編叙事詩『イーリアス』に記述されたトロイアの古代都市の存在を信じて、終に

その遺跡の発掘に成功した

ことはよく知られている。嘗ては歴史研究という大事件・大人物を扱った記述が主体で、一種の年代記風のものであった。近年は調査対象を、地理・社会・経済などの構造の観点から分析して解釈するのが主流で、フランスのアナール学派の影響とされている。本邦でも宮本常一氏(1907〜1981)、網野善彦氏(1928〜2004)らがこのような観点から研究を行ってきた。しかし彼らの研究は民俗学の研究を基盤にしたもので、アナール学派の影響は考えられない。とりわけ宮本氏の研究は、徹底したフィールドワークによつて収集した史料に依拠しており、比類を見ないものである。タキトゥスの『ゲルマニア』における記述方法は、アナール学派の先駆ともとれる。

アナール学派の第2世代を率いたフェルナン・ブローデル Fernand Braudel (1902〜1985) が著した『文明の文法』(邦訳みすず書房)は、歴史を文明の流れとして捕らえた世界史のテキストである。日本については、「極東」の項で中国・朝鮮・フィリピン・インドネシア・シヤム(タイ)

に次いで最後に記述されて

いる。日本の歴史が専ら中国の影響を受けてきたことが強調されている。ウィーン大学医学史学教授ノイバーガー Max Neuburger (1866〜1955) もその著書で、江戸時代までの日本の医学について同様の評価をしている。筆者は「日本の文明」という用語を目にしたことがない。日本には果たして文明と呼べるような歴史が存在したのだろうか。

ブローデルは日本の武家社会の特徴として、主君への忠誠を挙げている。その例として赤穂浪士について述べている。47士が主君の仇を討った後、その墓前に仇の首級を供えて集団割腹をしたと記述している。実際には大石内蔵助以下大目付に自首して出た後、細川家以下四大名に分散して預けられた。幕府から切腹という裁きが下された後、預かり先の名家で介錯された。切腹というのは武士に対する刑罰である。『続視聽草』という本には、細川家に預けられた17人の浪士の処刑時の凶面が収載されている。赤穂浪士に関する研究は少なからずあるが、ブローデルはどのような史料に拠ったものか。

史料どころか伝承にさえ

ない出来事が、史実として長年通用することがある。江戸幕府が腑分を禁止していたという説がその例である。管見した限りでは、明治前期当時の解剖学の教授が提唱したようで、今日に至るまで明確な史料は見出されていない。本邦の医学史研究は明治に入ってから古人の顕彰に由来しており、欧米の科学史研究とは根幹が異なる。

訂正  
会報189号  
心臓の話  
31面 13〜14行目  
右冠動脈に較べて左冠動脈で  
←  
左冠動脈に較べて右冠動脈で



## 令和5年度 千葉大学医師会 日本医師会認定産業医研修会 「基礎(実地)」・「生涯(実地)」開催のご案内

日時：令和5年11月22日(水) 18時〜20時  
場所：千葉大学医学部・医学系総合研究棟3階 第1講義室  
定員：50名

受講料：千葉大学医師会員 無料、非会員：2,000円

申込URL：<https://forms.gle/epaZ9dh22rf6oio38>

※上記フォーム内で残席情報を確認出来ます。

申込期限：令和5年10月27日(金) ※定員に達しない場合、期日以降も受付

研修内容：「作業環境測定実習」  
基礎・実地 2単位 又は 生涯・実地 2単位

申込・問合せ：千葉大学医師会事務局

Tel：043-202-3755 (千葉医学会共用) e-mail：ishikai@c-med.org





おくやみ

- 九島 璋二 (昭23)
- 斎川 俊一 (専23)
- 木村 英和 (専25)
- 手塚久美子 (山東中国学院・昭26)
- 福島 通夫 (昭29)
- 齋藤 篤 (昭34)
- 福井 進 (昭36)
- 矢野 靖子 (昭37)
- 緑川 隆 (昭38)
- 田井千津子 (昭39)
- 仁藤 章夫 (昭46)
- 田代 宏徳 (平10)



るのほな同窓会報第193号をご覧いただきまして有難うございます。また、皆様の手元に無事に同窓会報をお届けするにあたり、ご尽力頂きました編集委員の先生方や同窓会事務の方々に御礼申し上げます。皆様が更新されたという猛暑の折、如何お過ごしでしょうか。

コロナの状況についてはまだ安心できる状況には至っていませんが、一方で私の勤務する成田では海外からの観光客がとて増えた印象があり、希望の光が見えてきました。感染症予防策を徹底しながら、新しい日常に向けて進んでいくことを願っております。

編集後記

さて、私事ですがこの度、新たに同窓会報の編集委員にさせて頂きました。昔は同窓会報の有り難みを理解できなかったかもしれませんが、今ではその大切さを痛感しています。大変残念な訃報もありますが、見知った先生方のご活躍や医学生の活動報告など、その情報の温かみというのでしょう。か、千葉大学を離れて暫くして初めて気がつきました。同窓会報は、千葉大学と同窓会の絆を強化し、卒業生同士のつながりを保つ貴重な手段です。編集委員として、皆さまに有益な情報をお届けする責任を感じ、身が引きしまる思いでおります。

今後につきまして、この同窓会報や私の所属する千葉県るのほな会の活動を通じて、若手や中堅の卒業生にも興味を持ってもらえるよう、また同窓会がより有意義な存在になるために、千葉県を超えて全国各地の同窓生との繋がりを築く活動を進めていければと思っております。皆さまからのご協力やアイデアを心からお待ちしております。

引き続き、皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

大西俊一郎 (平17)

会報193号編集委員

- 諏訪園 靖 (平6) 編集委員長
- 杉田 克生 (昭54)
- 白澤 浩 (昭57)
- 今野 慎 (昭62)
- 宍戸 忠幸 (山梨医大・平8)
- 飯沼 克博 (昭55)
- 剣持 敬 (昭58)
- 小島 広成 (平3)
- 大西俊一郎 (平17) (敬称略)

千葉医学99巻3号 2023年6月

原著短報

肝炎ウイルス検査陽性者の拾い上げとして、アラートシステムの不備を手作業で補った効果の評価

亀崎秀宏 岩永光巨 徳長 鎮 前田隆宏 妹尾純一

話題

アプリオリならびにアポステリオリな大脳機能の語源的理解

杉田克生 池田黎太郎

学会

第1467回千葉医学会例会・第43回歯科口腔外科例会

第1474回千葉医学会例会・第22回呼吸器内科例会

(第36回呼吸器内科同門会)

編集後記

大塚将之

第98回千葉医学会学術大会開催案内

編集方針ならびに投稿規定

Chiba Medical Journal

Original Article

Risk factors for perioperative liver damage in laparoscopic sleeve gastrectomy for morbid obesity

Yasunori Matsumoto, Masayuki Kano, Hideki Hayashi, Hiroshi Suito

Koichi Hayano, Yoshihiro Kurata, Ryota Otsuka, Hiraku Ono

Koutaro Yokote, and Hisahiro Matsubara

Editorial Policy and Instructions for Authors

千葉医学99巻4号 2023年8月

最終講義

疾患モデルマウスと歩んだ40年

幡野雅彦

脳の原理

岩立康男

学会

第1465回千葉医学会例会・令和4年度内分泌代謝・血液・老年内科学例会

第1481回千葉医学会例会

・第40回千葉精神科集談会

編集後記

大鳥精司

第15回(2023年度)千葉医学会賞・奨励賞 受賞者決定

Chiba Medical Journal

Case Report

A case of an obese, infertile Japanese woman with type 2 diabetes mellitus achieving a favorable and safe pregnancy outcome after laparoscopic sleeve gastrectomy

Yuri Nishioka, Yasunori Matsumoto, Hideki Hayashi, Masayuki Kano

Hiroshi Suito, Koichi Hayano, Yoshihiro Kurata, Ryota Otsuka

Natsuko Nakamura, Hiraku Ono, and Hisahiro Matsubara

口座振替のおすすめ

会報と共に会費納入のお願い(払込取扱票)が同封されていた方は、るのほな同窓会費(5,000円)の納入をお願い致します。

会費納入には口座振替が便利です。

口座振替申し込み用紙は同窓会事務局までご請求ください。

TEL: 043-202-3750

e-mail: info@inohana.jp

\*他金融機関からゆうちょ銀行への振込先

〇一九(ゼロイチキユウ)店(019)当座0143947